

黑龍江省檔案館編

滿鐵調查報告（第一輯）16

廣西師範大學出版社

保 20  
價 8  
購 委  
乙 分 379

昭和十一年十一月

重要商品價格構成調查小委員會、新京哈爾濱  
ニ於ケル打合經過報告ノ件  
（重要商品價格調查ニ關スル出張報告）

滿鐵。產業部

昭和十一年十一月七日

産業部商工課  
武藤

仰

一

重要商品價格形成調査小委員會  
委員長 殿

重要商品價格形成調査小委員會ノ新京、  
哈爾濱ニ於ケル打合経過報告ノ件

有關小委員會業務上ノ必要ニ基キ去ル十月二十九日ヨリ十一月三日迄新  
京、哈爾濱ニ出張シ本調査協力機關タル滿洲國財政部、中銀、北滿鐵道  
1 左記各項ニ就テ打合シタルニ付報告申上ク

記

(1) 新京ニ於ケル打合事項

一日時、場所

十月三十日(金) 午前十時半ヨリ 新京事務局ニ於テ

出席者

滿鐵側 福留、佐々木、佐瀬、武藤

財政部關稅科側 岩崎、中村

中銀側 渡邊

一、打合内容

(一) 委員會草案説明(佐瀬氏説明)

十月二十八日第四回打合會ニ於テ決定セル再檢討草案ニ基キ項目別ニ説明セリ

(二) 同案檢討

調査商品、銘柄、地名ニ關シ左ノ如ク協議セリ

イ、調査商品ニ就キ銘柄ノ不確定、不明ナルモノハ一應今回ハ之ヲ取止メ次回引續キ研究ノ上取捨ルコトトセリ

即チ陶磁器、玻璃器、タリヤ、機械器具、車輛類、油脂及ゴ  
ム類、果實蔬菜、水産物、鹽詰食料品ハ之ヲ削除セリ

四、調査商品銘柄ハ三者意見交換ノ結果取舍更正ヲ見タリ

一別項参照アリタシ

#### ハ、調査地名

關稅科ノ希望ニヨリ輸入地ヲ大連、安東、營口ノ三地トシ關門  
ハ見合ノ事トセリ

各中總集收地ヨリ消費地ニ至ル迄ノ諸幣ハ中銀ニ於テ分擔ノ等  
ノ處年歳事務多忙ト暗調査山積セル結果左記消費地迄ノ諸幣及  
各調査地ニ於ケル即、小賣物價ニ就キ調査擔當ノコトトナレリ  
中銀適當調査地ハ吉林、冰庫、山城鎮、通遼、承德

尙關稅科ニ於テモ好意的ニ消費地迄ノ諸幣調査擔當シテ可ナリ  
トノ意向アリタレハ殘餘各消費地ニ關シテハ更メテ關稅科、社  
經ト打合分擔ノコトトス

(三) 調査時日

中銀力卸、小賣物價ヲ取ル關係及本調査ハ年内中ニ集計ヲ要スル  
點ヨリシテ十二月一日ヲ期シテ調査ヲ爲スコトトシタルニヨリ豫  
メ調査依頼機關ニ調査表ヲ配付スル様手配スルモノトス

(四) 哈爾濱ニ於ケル打合事項

一、日時、場所

十月三十一日（土）午前十時半ヨリ北滿經調商工班室ニ於テ

一、出席者

産業部側

佐瀨、武藤

北經側

甘粕、井上

一、打合内容

(一) 新京ニ於テ決定セル事項ヲ説明ノ上諒解ヲ求メタリ

(二) 調査分擔地並ニ關シテ

前述新京ニ於ケル打合ノ結果ヨリシテ北經ニ於ケル分擔部面擴大サレタルニ付大體北滿關係各地ニ於ケル諸掛調査ニ實際ニ進出方要請セルトコロ應諾アリタリ

(三) 調査表フォームノ再檢討

本委員會カ消費部門迄進出スルコトトナリタル爲調査表フォームノ再檢討ヲナシ歸還ノ上之カ決定ヲナスコトトセリ  
之ニ關聯シテ同地大信號、南海洋行ニ赴キ實地取扱商品ノ奥地向諸掛項目ヲ調査セリ

調査商品並銘柄一覽

白米 安東一等米、北滿一等米、撫順米、朝鮮一等米、西貢米

麥粉 寶船、綠三星、三羊（赤）、寶星

砂糖 T（日糖）、YP（明糖）、N（日糖）

酒 朝日、雙鶴、哈大門、粉刀王

煙草 朝日、雙鶴、哈大門、粉刀王

茶 字治正喜撰、川柳、香片毛峰、加殊大方

燐寸 安全ワツ子（神戸筆印、羽鹿及同德用）、硫化燐有印紙

（寶山）

石油（揮發油モ含ム） 黃印、赤印

雜貨 紙、洋紙（模造紙）、半紙（因州上）、燒紙

紙、靴（國華、太陽牌）、洗滌石鹼（レロ、ド、鶴鹿）

二棉 花 印棉、北支棉（深縣棉）

綿糸 十六番手 桂月、遼塔、銀月

二十、 福助、日出鶴、豐年



生地綿布

然糸 雙雁  $\frac{3}{20S}$ 、遼塔  $\frac{3}{20S}$   
大尺布 青天童兒、象冠、雙牡、三友（管口ノモノ）

細布 車人、遼塔

粗布 遼塔、鷄龍、大安、三元寶

細綾 三友圖、寶珠

加工綿布

晒細布 金鼎、公會堂

捺染五枚 虞美人

縞三綾 世冠圖

子ヤバジン 二賢圖

毛織物

セスリン（白一號）、サーズ（二〇〇〇番手）、黒ブル  
トン（並）

人絹織物

建築用鐵材

紋パレス（四八〇〇本級）、毛葛（鼎發財五九四番）  
銑鐵（一號）、丸鐵（中丸鐵六分）、亞鉛引平板（三〇  
番）、亞鉛引浪板（二六番）、洋釘（二吋）

セメント

小野田、淺野、哈爾濱、大同

木 材    ペニヤ板（ラワン    8 尺×8 尺×8 種）  
 板硝子    昌光（100×20    三八枚入）    耀華  
 染料、ペイント類    藍（獅子牌）、ペイント A 印  
 新麻袋    靛筋、青筋

(一) 調査ニ對スル具體的計畫

(1) 調査表ツキムノ再作成

御覽ヨリ小賣ニ至ル諸掛ヲモ本委員會ニテ分擔ノコトナリタル爲從  
來ノ表ニ更ニ小賣諸掛ヲ加ヘ作成シ既ニ印刷中ナリ

(二) 商品輸入徑路ノ選定(豫想徑路ニシテ確定的ナルモノニ非ス)

寧安―圖們―新京―奉天―各輸入港

佳木斯―牡丹江―哈爾濱―新京―奉天―各輸入港

圖們

富錦―哈爾濱―新京―奉天―各輸入港

敦化―新京―奉天―各輸入港

吉林

一面坡

黑河

哈爾濱―新京―奉天―各輸入港

克山 齊齊哈爾 (四平街) 奉天 各輸入港  
 訥河 齊齊哈爾 哈爾濱 新京  
 安東 哈爾濱 新京 奉天 各輸入港  
 海拉爾 哈爾濱 新京 奉天 各輸入港  
 大寶 新京 奉天 各輸入港  
 洮南 (四平街) 奉天 各輸入港  
 王爺廟 新京 四平街 奉天  
 山城鎮 奉天 各輸入港  
 通遼 (四平街) 奉天 各輸入港  
 赤峰 錦縣 奉天 各輸入港  
 承德 錦縣 奉天 各輸入港  
 山海關 錦縣 奉天 各輸入港  
 大體右ノ徑路ニ從ヒ輸入地ヨリ消費地迄ノ直通扱及各中繼地別打切  
 扱ニ分チ夫々調査スルコトトシ當該商品取扱商ニ基キ實際ノ商品流  
 動狀況ニ副フ様補正スルモノトス

(三) 調査表依頼機關

奉天、新京、哈爾濱、齊齊哈爾等ノ中繼地ニ於ケル三井、三菱、東  
棉ニ調査表ヲ配付シ出來得ル限り消費地ト輸入港間ノ諸埠ヲ調査ス  
ル様依頼スルコト

尙夫ニテ尙不充分、不明瞭ナル際ハ實地ニ各消費地ノ取扱業者ニ出  
向ノ上調査スルモノトス

以上ノ場合北滿經綫ハ勿論各地鐵路局產業處ニ連絡シ調査ノ實行及  
促進ヲ計ル様ナスヲ可トスヘシ

(四) 委員或ハ連絡員ノ設置

鐵道總局及各鐵路局ノ關係機關ヲ動員シ本調査ヲ進行セシムルニ就  
テハ責任ヲ以テ遂行セシムル様本委員會ヨリ新ニ前記機關ノ關係者  
ヲ委員或ハ連絡員トシテ指定スル様取計願度

牡局綜合情報第九號

昭和十二年九月三十日

東滿（管下）糧食ノ實態調査

牡丹江鐵路局  
總務處 資

科

科

凡 例

農村經濟ノ組織統成化カ滿洲國產業開發促進ノ根本的問題トシテ取  
上ケラレ之ニ關聯シテ當然問題トナルノハ特產物配給機構中ノ一環  
トシテ重大ナ役割ヲ演シテ居タ地方糧棧ニ對スル政策如何ノ問題デア  
ル

即チ目下各方面ニ亘ツテ論議サレテキル農事合作社ノ設置ニ依テ今  
後ノ特產取引機構ハ根本的變革整備期ニ入り他方滿洲特產經濟ノ合理  
的發展カ標榜サレテキル

本稿ハ東瀛ニ於ケル主要糧棧ノ實態ト動向ヲ示シ併セテ農事合作社  
問題ニ對スル基礎的資料ヲ提供セムトシテ企テタルモノテアル  
昭和十二年九月三十日 山下武男 記

# 目次

|     |         |    |
|-----|---------|----|
| 一   | 總論      | 一  |
| 二   | 東瀛鹽淺ノ實態 | 六六 |
| (一) | 取引概況    | 八  |
| 三   | 結語      | 一四 |
| 四   | 各地別鹽淺概況 |    |
| (一) | 牡丹江     | 一八 |
| (二) | 海杯      | 三一 |
| (三) | 下城子     | 四一 |
| (四) | 一面坡     | 四八 |
| (五) | 亞希洛尼    | 五四 |
| (六) | 仙洞      | 五六 |
| (七) | 杯口      | 六〇 |
| (八) | 勃利      | 六五 |
| (九) | 本所      | 七三 |



|     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 密   | 莫   | 平   | 寧   | 東   | 圖   | 東   | 延   | 敦   | 龍   |
| 山   | 和   | 陽   | 安   | 京   | 們   | 城   | 吉   | 化   | 井   |
| 一〇〇 | 一一〇 | 一一二 | 一一八 | 一二四 | 一二九 | 一三三 | 一三四 | 一五〇 | 一四三 |